

---

宇 和 島 圏 域  
定住自立圏共生ビジョン

---

作 成 ( 案 )

平成 29 年〇〇月  
宇和島市・松野町・鬼北町・愛南町

# 目 次

<b>第1章 定住自立圏共生ビジョンにおける基本的事項</b>	<b>1</b>
1. 定住自立圏構想の概要	1
2. 策定の目的	1
3. 定住自立圏及び構成市町村の名称	1
(1) 定住自立圏の名称	1
(2) 定住自立圏を形成する市町（構成市町）の名称	1
4. 計画期間	2
<b>第2章 圏域の概況</b>	<b>2</b>
1. 各市町の人口と面積	2
2. 位置図等	2
3. 圏域を構成する市町の概要	3
<b>第3章 圏域の将来像</b>	<b>5</b>
1. 圏域の現状と主な課題	5
(1) 人口減少・少子高齢化	5
(2) 地域資源の活用・地域の活性化	8
(3) 生活機能の確保	10
(4) 産業別就業者状況	13
2. 目指すべき圏域の将来像	14
<b>第4章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組</b>	<b>15</b>
1. 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組	15
(1) 生活機能の強化に係る政策分野	
ア 医療	
イ 産業振興	
ウ 教育・文化	
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	
ア 地域公共交通	
イ ICTインフラ整備	
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	
ア 人材の育成・交流	
イ 圏域外からの専門家の登用	
(4) まち・ひと・しごと創生に係る政策分野	
ア 外部からの人材確保	

## 第1章 定住自立圏共生ビジョンにおける基本的事項

### 1. 定住自立圏構想の概要

我が国の総人口は、今後、減少することが見込まれる中、特に地方圏では少子高齢化に加え、過疎化と生産年齢人口の減少が進み、その活力が失われつつあります。

このような状況の中、安心して暮らせる地域を形成し、三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、地方圏への人の流れを創出することが求められています。しかしながら、国・地方を問わず財政力などが低下する中、こうした課題に対し、市町村それぞれが単独で取り組むことは難しくなっています。

定住自立圏は、一定の都市機能を持った中心市と、それに近接し経済や文化などで密接な繋がりのある周辺市町村が、自らの意思で1対1の協定を締結することを積み重ねることで形成される新たな圏域です。

定住自立圏構想は、圏域を構成する市町村や民間企業等が互いに役割を分担し、連携協力して圏域全体の活性化を図ろうとするもので、中心市の機能と周辺市町村の機能が、協定によって有機的に連携し、「定住」のための暮らしに必要な諸機能を総体として確保するとともに、「自立」のための経済基盤や地域の誇りを培い、圏域全体として魅力あふれる地域を形成していくことを目指すものです。

### 2. 策定の目的

本ビジョンは、定住自立圏構想推進要綱（平成20年総行応第39号）に基づき、先に締結した定住自立圏形成協定の内容を踏まえ、地域の活性化と発展を図るため、適切に役割を分担しながら、圏域全体として目指すべき将来像及びその実現のために必要な具体的取組等を示すものです。

また、本ビジョンは、圏域の定住自立圏構想の取組の推進にあたり、総務省をはじめ、国の各府省の支援の根拠となる計画です。

### 3. 定住自立圏及び構成市町の名称

#### (1) 定住自立圏の名称

宇和島圏域定住自立圏

#### (2) 定住自立圏を形成する市町（構成市町）の名称

宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町

#### 4. 計画期間

平成30年度から平成34年度までの5年間とし、毎年度所要の変更を行います。

## 第2章 圏域の概況

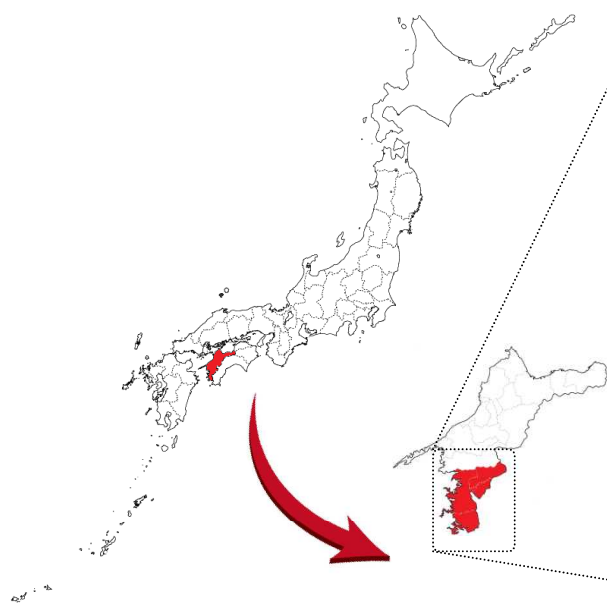
### 1. 各市町の人口と面積

市町名	人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )
宇和島市	77,465	468.15
松野町	4,072	98.45
鬼北町	10,705	241.88
愛南町	21,902	238.98
圏域合計	114,144	1,047.46

※人口は平成27年国勢調査、面積は愛媛県市町要覧(平成27年度版)より

### 2. 位置図等

愛媛県の西南部に位置し、北は法華津峠、歯長峠など肱川水系と四万十川水系を分ける法華津山脈、東と南は鬼が城山系や篠山などの山岳地域が広がり、西は宇和海に面しています。沿岸部はリアス式海岸に縁取られ、内陸部は緑深い四国山地の懷にいだかれるなど、足摺宇和海国立公園や篠山県立自然公園にも指定されている美しい景観と豊かな自然に恵まれています。



### 3. 圏域を構成する市町の概要

#### 宇和島市

～伊達 10 万石の城下町宇和島～

宇和島市は四国の西南部に位置しており、宇和海と鬼ヶ城山系に囲まれ、多種多様な柑橘類をはじめ、日本有数の生産量を誇る真珠、タイ、ブリなど養殖業が盛んです。

伊達 10 万石の城下町として栄えた市街地には、既存 12 天守の「宇和島城」や伊達氏にまつわる史跡や文化財が数多く残されるとともに、四国唯一の「闘牛」や「遊子水荷浦の段畑」などの観光資源も多く、また「うわじま鯛めし」や「じゃこ天」などの絶品グルメが豊富です。

自然だけでなく、南予救命救急センターを併設する四国西南地域の中核病院「市立宇和島病院」や大型小売店、コンビニなども充実しており、また、県都・松山市、空港等へのアクセスは高規格道路の開通により車で 1 時間あまりとなっております。

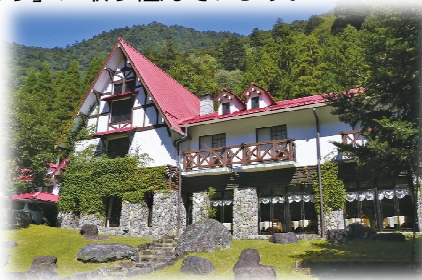


#### 松野町

～森の国 まつの～

松野町は鬼ヶ城山系や戸祇御前山系など 1,000 メートル級の山々に囲まれ、宇和島市、鬼北町と高知県四万十市に接していることにより、古くから予土国境の町として交易が盛んでした。総面積は 98.45 平方キロメートルで、その約 84%が山林原野で占められ、町の中央部を流れる広見川は四万十川の最大の支流のひとつで水産資源に恵まれており、また南部を流れる目黒川の源流部分に位置する足摺宇和海国立公園「滑床溪谷」は西日本有数の溪谷として知られるなど森と水に恵まれています。それら緑豊かな自然とその風土に育てられたふるさと松野町を「森の国」と称し、各種事業を全町的に進めています。

基幹産業である農林業の振興を推進するとともに、道の駅「虹の森公園」や滑床溪谷の「森の国ホテル」などの拠点施設やアウトドア体験を核とした観光産業、国指定史跡である中世城郭「河後森城跡」や俳人「芝不器男」顕彰などの歴史文化、さらに企業誘致や定住促進政策など各種政策が連携し「森の国のまちづくり」に取り組んでいます。



## 鬼北町

～自然豊かな 心豊かな 暮らし豊かなまち きほく～

愛媛県西南部に位置し、東西 28.0km、南北 20.8km、総面積 241.87km<sup>2</sup> の町で、南予の生活圏の中心である宇和島市に隣接しています。地形は、四方を高月山、御在所山、戸祇御前山、高研山、地蔵山などが連なる四国山地に囲まれた盆地で、日本最後の清流と呼ばれる四万十川の源流のひとつとして町民に親しまれている広見川が町の中央を貫流しています。

鬼の文字が付く唯一の自治体として鬼のまちづくりに取り組んでいます。

鬼王丸



広見川



鬼北町特産キジ肉



## 愛南町

～ともにあゆみ育て創造するまち 第2章～

愛南町は愛媛県の最南端に位置し、北は四国山脈から分岐した篠山を中心に森林地帯が広がり、南は黒潮躍る太平洋、西は穏やかな豊後水道に接しています。海岸部はリアス式海岸を形成し、数々の景勝地を有する「足摺宇和海国立公園」に指定されています。

温暖な気候のもと、内陸部では米作とともに多様な地形を利用して、日本一の生産量を誇る愛南ゴールド（河内晩柑）や甘夏柑等の柑橘栽培が、海岸部では水産資源を活用した漁業及び魚類養殖が盛んです。



### 第3章 圏域の将来像

#### 1. 圏域の現状と主な課題

##### (1) 人口減少・少子高齢化

国勢調査による平成27年の本圏域の人口は114,144人であり、平成2年の156,824人と比べ42,680人、27.2%減少しており、愛媛県全体の同年比較の8.6%を大きく上回っております。

【図表1・2】

また、年齢3区分別の人口推移では、いずれの市町においても老年人口（65歳以上）の構成比が上昇しており、圏域全体における老年人口（65歳以上）構成比は平成27年で37.8%と、平成2年と比較すると19.3ポイント上昇するなど、急速な高齢化が進行しています。一方、年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）の同年の構成比は、それぞれ10.7%、51.5%と、年を重ねるごとに下降しています。【図表4】

平成25年3月に公表された国立社会保障・人口問題研究所の推計結果によると、このまま推移した場合、本圏域においては平成37年に10万人を切り、平成52年には平成2年と比較して半分以下の73,115人まで減少する推計となっており、かつ、老年人口（65歳以上）比率は46.2%まで上昇、年少人口（0～14歳）の構成比は8.8%程度、また生産年齢人口（15～64歳）の構成比は50%を割り込むと見込まれています。

これらのことから、人口減少及び少子高齢化に対応したまちづくりを進めるとともに、社会を支える世代の定住を促進させることが課題であると考えられます。【図表3・4】

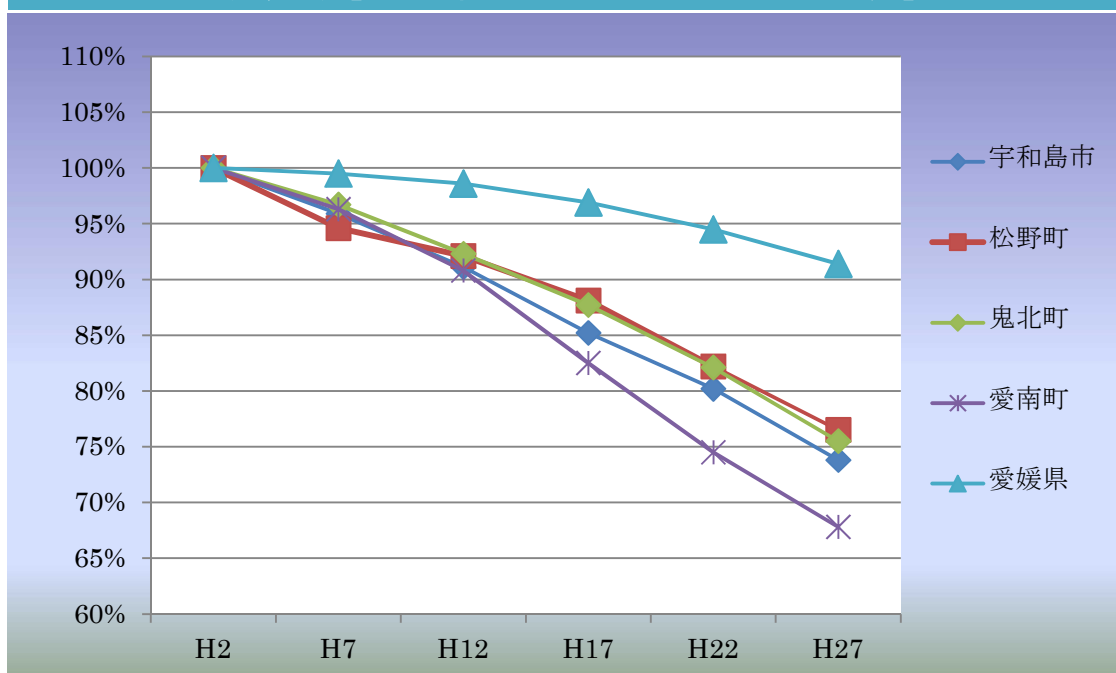
【図表1】【人口の推移】

(単位：人、%)

市町名等	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H27年
宇和島市	105,030 (100%)	100,776 (95.9%)	95,641 (91.1%)	89,444 (85.2%)	84,210 (80.2%)	77,465 (73.8%)
松野町	5,325 (100%)	5,038 (94.6%)	4,906 (92.1%)	4,690 (88.1%)	4,377 (82.2%)	4,072 (76.5%)
鬼北町	14,174 (100%)	13,706 (96.7%)	13,080 (92.3%)	12,432 (87.7%)	11,633 (82.1%)	10,705 (75.5%)
愛南町	32,295 (100%)	31,101 (96.3%)	29,331 (90.8%)	26,636 (82.5%)	24,061 (74.5%)	21,902 (67.8%)
圏域合計	156,824 (100%)	150,621 (96.0%)	142,958 (91.2%)	133,202 (84.9%)	124,281 (79.2%)	114,144 (72.8%)
愛媛県	1,515,025 (100%)	1,506,700 (99.5%)	1,493,092 (98.6%)	1,467,815 (96.9%)	1,431,493 (94.5%)	1,385,262 (91.4%)

※総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)より

【図表2】【人口の推移（H2年を100%とした指数）】



【図表3】【年齢3区分別人口の推移】

(単位: 人、%)

区分	市町名等	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H27年
年少人口 (0~14歳)	宇和島市	19,511	16,495	13,825	11,675	10,125	8,483
	松野町	923	759	636	577	471	354
	鬼北町	2,344	1,933	1,660	1,464	1,290	1,159
	愛南町	6,054	5,031	4,211	3,434	2,690	2,137
	圏域 小計	28,832	24,218	20,332	17,150	14,576	12,133
生産年齢人口 (15~64歳)	宇和島市	66,704	62,553	57,576	52,193	47,690	40,680
	松野町	3,206	2,937	2,753	2,528	2,274	1,984
	鬼北町	8,475	7,940	7,168	6,475	5,924	5,027
	愛南町	20,550	19,497	17,778	15,373	13,297	11,008
	圏域 小計	98,935	92,927	85,275	76,569	69,185	58,699
老年人口 (65歳以上)	宇和島市	18,731	21,728	24,240	25,576	26,359	28,072
	松野町	1,196	1,342	1,517	1,585	1,632	1,726
	鬼北町	3,355	3,833	4,252	4,493	4,419	4,516
	愛南町	5,691	6,573	7,337	7,829	8,063	8,687
	圏域 小計	28,973	33,476	37,346	39,483	40,473	43,001
合計		156,740	150,621	142,953	133,202	124,234	113,833

※総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)より

※年齢「不詳」あり(合計については「図表1」と一致しない)

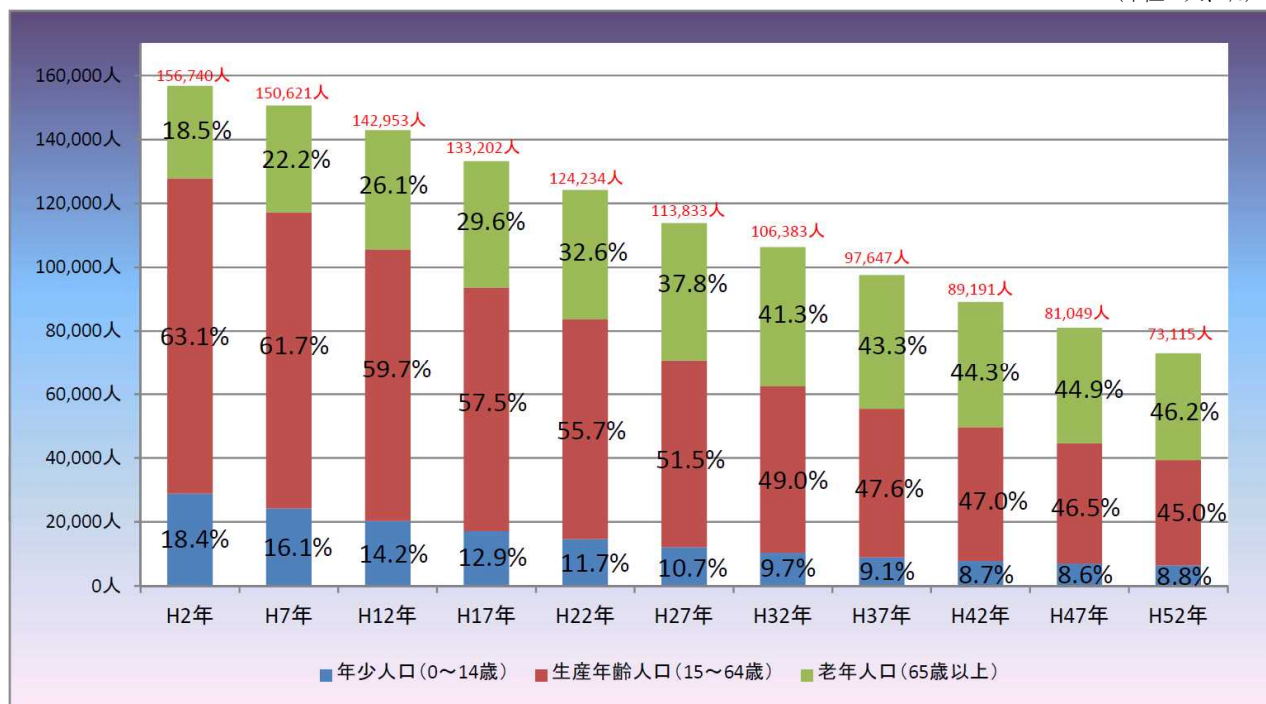


区 分	市町名等	H32年	H37年	H42年	H47年	H52年
年少人口 (0～14歳)	宇和島市	7,558	6,578	5,782	5,261	4,887
	松野町	297	255	218	193	178
	鬼北町	899	774	676	612	573
	愛南町	1,568	1,277	1,041	881	778
	圏域 小計	10,322	8,884	7,717	6,947	6,416
生産年齢人口 (15～64歳)	宇和島市	36,929	33,440	30,507	27,716	24,500
	松野町	1,669	1,445	1,310	1,153	974
	鬼北町	4,453	3,980	3,558	3,235	2,849
	愛南町	9,117	7,644	6,575	5,619	4,611
	圏域 小計	52,168	46,509	41,950	37,723	32,934
老年人口 (65歳以上)	宇和島市	28,630	27,618	25,959	24,036	22,504
	松野町	1,704	1,624	1,476	1,357	1,258
	鬼北町	4,595	4,346	4,080	3,738	3,452
	愛南町	8,964	8,666	8,009	7,248	6,551
	圏域 小計	43,893	42,254	39,524	36,379	33,765
合 計		106,383	97,647	89,191	81,049	73,115

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成25年3月推計)より  
【平成22年の国勢調査を基に階級別の将来人口を推計】

〔図表4〕【年齢3区分人口の推移】

(単位：人、%)



## (2) 地域資源の活用・地域の活性化

宇和島圏域は、伊達10万石の城下町として築き上げられた歴史・文化をはじめ、色鮮やかな珊瑚や海の幸を育む宇和海、日本最後の清流と言われる四万十川の源流に位置する豊かな川、南予アルプスと呼ばれる鬼ヶ城山系の四季の彩り、緑の静寂と澄んだ空気に包まれた森林、素朴で温かい人情など、「うみ」「かわ」「もり」「ひと」のフレーズのもと、全国に誇れる多彩な資源が豊富な地域です。

また、豊かな自然を活用し、農業・林業・漁業などが営まれ、圏域内では名産・特産品が多数存在するとともに、地域の賑わいを創出する「道の駅」は7施設立地しています。

このように、圏域の魅力の根幹となる多くの自然と文化財が存在し、「ここにしか」「その時しか」体験することのできない地域固有の味わいを創出できる地域であります。

また、平成23年の高速道路の宇和島延伸により、宇和島圏域は新たな局面を迎えており、これを好機して地域活性化に結びつけるよう各市町それぞれ誘客事業を行っております。

今後もさらに圏域内の豊かな地域資源を保全及び活用し、圏域内で連携のうえ、全体の活性化に結びつけることが課題であると考えられます。

【図表5】【宇和島圏域における主な名所・特産品等】

市町名	名勝旧跡・観光施設	名産・特産品	祭・行事
宇和島市	宇和島城、天赦園、南楽園、遊子水荷浦の段畑、篠山県立自然公園、鬼ヶ城山系、法華津峠、滑床溪谷、薬師谷溪谷、祓川溪谷、横吹溪谷、日振島、沖の島、大良鼻、中山池自然公園、岩松の町並み、龍光寺、佛木寺、等覚寺(伊達家墓所)、大隆寺(伊達家墓所)、大乘寺(吉田藩主墓所)、満願寺、宇和津彦神社、多賀神社、吉田ふれあい国安の郷、吉田藩陣屋跡 旧庄屋毛利家住宅、樺崎砲台跡、伊達博物館、市営闘牛場、歴史資料館、城山郷土館、道の駅みなとオアシス「きさいや広場」、道の駅みま だんだん茶屋、吉田観光物産センター、畦地梅太郎記念美術館・井関邦三郎記念館、道の駅津島やすらぎの里、祓川温泉、木屋旅館、日崎海水浴場、南レクオートキャンプ場、津島プレーランド、観光みかん園、フィッシングセンター	真珠、タイ、ハマチ、伊達あじ、伊達まぐろ、しらうお、じゃこ天、かまぼこ、チリメンじゃこ、鯛めし、さつま、鯛そうめん、ふかの湯ざらし、太刀巻き、ふくめん、丸ずし、六宝、海産加工品、みかん、柑橘類全般、温州みかんジャム、レッドパール(いちご)、ぶどう、キウイフルーツ、ブラッドオレンジ、フルーツフル、果物加工品、たけのこ、たまねぎ、バレイショ、三間米、唐饅頭、大番、善助餅、牛鬼一刀彫、地酒(名門・大番の尾)、「なっそ」	和霊大祭・うわじま牛鬼まつり(7月22～24日)、吉田町夏祭り(7月第1土曜)、三間町納涼大会(8月13日)、つしま夏祭り(8月17日)、由良神社裸祭り・和船競漕(7月15日)、綿津見神社夏祭り・ペーロン競漕(7月20日)、花踊り(9月1日)、三島神社秋祭り(10月14日)、伊吹八幡神社秋祭り(10月16日)、三浦天満神社秋祭り(10月19日) 三間町統一秋祭り(10月23日)、宇和津彦神社秋祭り(10月29日)、吉田町秋祭り(11月3日)、津島町秋祭り(11月3日)、定期闘牛大会(1月2日、4月第1日曜、7月24日、8月14日、10月第4日曜)、津島しらうお&産業まつり(1月最終日曜)、ふる里だんだん祭り(4月中旬)、宇和島Hawaiian フェスティバル(6月上旬)、きなはいや吉田三万石(吉田産業祭)(10月中旬)、宇和島市産業まつり・パールフェスティバル・30年目のラブレターin うわじま(11月中旬)、みま町コスモスまつり(11月第1日曜)、中山池自然公園イルミネーション(12月)

松野町	国立公園「滑床溪谷」、伊井公園、天ヶ滝、不器男記念館、国指定史跡河後森城跡、国指定重要文化財目黒山形関係資料、一位檜、逆枝のイチョウ、森の国ぼっぼ温泉、四国ぼけ封じ三十三観音霊場、虹の森公園(四万十川学習センターおさかな館、森の国ガラス工房、森の国ファーム、かごもり市場、レストラン遊鶴羽)、森の国ロッジ、森の国ホテル	天然うなぎ、かに、桃、梅、茶、ユズ、ガラス製品、柚子ジャム、桃ジャム、雪輪あられ、松野町産南高梅、ピーチワイン「なめとこ」、雷漬、生芋こんにやく、手もみ茶、梅シロップ、梅そうめん	桃源郷マラソン大会(4月上旬)、桃まつり(7月上～中旬)、滑床山開き(4月下旬)、滑床まつり(7～8月中旬) 森の国の夏まつり(8月13日)、秋まつり(10月第4日曜日)、文化祭(11月上旬)、不器男忌俳句大会(2月下旬)、松野四万十バイクレース、森の国戦国武者伝走(11月)
鬼北町	成川溪谷、市越大池、轟颯穴群、節安溪谷、等妙寺旧境内、岩谷遺跡、善光寺薬師堂、松浦宗案の墓、武左衛門広場、勝山城址、伊予神楽、五つ鹿踊り、鬼北文楽 大本神社ウバヒガン・イトザクラ、武左衛門大いちょう、花とび踊り、成川溪谷休養センター、高月温泉、安森鍾乳洞、節安ふれあいの森、道の駅「森の三角ぼうし」・「日吉夢産地」、明星草庵、武左衛門一揆記念館、歴史民俗資料館、大野作太郎地質館、鬼王丸(鬼のモニュメント)	しいたけ、カニもなか、ゆずの里、地蔵みそ、鬼北の香里、くり、ゆず、やまいも、きゅうり、きじ肉、じねんじよ、媛っこ地鶏、媛かぶや、どぶろく	大本神社清明祭(4月5日)、弓瀧神社夏祭り(7月25日)、鬼北町秋祭り(10～11月)、子泣かし天狗祭り(1月上旬)、グリーンフェスティバル(4月29日)、さつきまつり(5月下旬～6月上旬の日曜日)、せせらぎ魚つちんぐ(7月中旬の日曜日)、成川ピザ祭り(7月下旬)、武左衛門ふる里まつり(8月14日)、六地藏奉納相撲大会(8月24日)、四万十・源流広見川上り大会(8月上旬)、奈良川河川敷いもたき(9月金・土曜日)、でちこんか(10月第2土・日曜日)、秋の大収穫まつり、ゆずまつり(11月3日)、花とび踊り(旧暦1月16日)、きじ鍋まつり(2月中旬)
愛南町	由良岬、宇和海海中資源群、柏崎岩神社境内の巨木群、観音岳、グリーンパークすのかわ、ゆらり内海、平城貝塚、観自在寺(40番札所)、南予レクリエーション都市開発公園施設、高野長英砲台跡、山出憩いの里温泉・キャンプ場、篠山、松尾峠、赤松家の南天、一本松温泉あけぼの荘、篠山学習館、鹿島、高茂岬、石垣の里、ウバメガシ林相、観光旅客船(ガイヤナ・ユメカイナ)、道の駅みしょうMIC	オランダエンドウ、愛南ゴールド、媛っこ地鶏、甘夏、真珠、かき、ヒオウギ貝、鯉の刺身・タタキ、養殖タイ、ハマチ、伊予の媛貴海(スマ)、愛南サツキマス、モイカ、トラウツボ、じゃこ天、かまぼこ、猪肉、ハウストマト、ぶどう、プロッコリー、カモ米、イワシの丸干し、いりこ、するめ、ふぐちようちん	愛南ファミリー釣り大会(5月)、西瀬戸グラウンドゴルフ交流大会(5月)、ぎゅぎゅつと愛南!夏の陣～海と山を喰らう～(5月)、愛南町いやしの郷トライアスロン大会(6月)、県境夏まつり一本松(7月)、シーウォーカー(6～8月)、愛南町城辺夏まつり(8月)、会いに行こう海の生き物シュノーケリング探検隊in須ノ川(7～8月)、復活須ノ川公園祭り(7月)、久良の能山踊り(8月)、愛南町御荘夏まつり(8月)、増田「はなとりおどり」(9月)、愛南まるごち秋の味覚祭(10月)、あいなん磯釣り大会(10月)、秋まつり(11月)、トレッキング・ザ・空海あいなん(11月)、正木花とり踊り(12月)、パールイルミネーションinDE・あ・い(12月)、ぎゅぎゅつと愛南冬の陣!～海と山を喰らう(2月)、だんだん雛祭り(3月)

※愛媛県市町要覧(平成27年度版)(抜粋)より

〔図表6〕【宇和島圏域における観光客等入込客数】

(単位:人)

市町名	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
宇和島市	2,294,343	3,033,509	2,480,336	2,623,842	2,914,468	2,825,257
松野町	419,142	465,062	436,069	424,989	412,367	446,450
鬼北町	592,970	572,037	608,249	574,380	676,204	701,744
愛南町	1,242,162	1,363,441	1,300,826	1,221,400	1,229,748	1,231,369
圏域合計	4,548,617	5,434,049	4,825,480	4,844,611	5,232,787	5,204,820

※平成24年:えひめ南予いやし博2012開催(宇和島圏域エリア)、平成27年:宇和島伊達400年祭開催(宇和島市エリア)、平成28年:えひめいやしの南予博2016開催(南予・一部伊予エリア)

### (3) 生活機能の確保

#### ①地域医療

宇和島圏域は、県内でも特に人口減少や高齢化が急速に進展している地域であるため、今後は医療需要が質的にも量的にも大きく変化することが見込まれています。

愛媛県が平成28年3月に策定した「愛媛県地域医療構想」では、このような状況を背景に試算された各圏域における将来の医療需要に基づいて、目指すべき医療提供体制（下図参照）が示されており、回復期病床の充実や医療従事者の確保などが課題として挙げられています。

また、課題解決に向けて他地域と同様に「常勤医の確保」や、「救急医療従事者の負担軽減」などへの積極的な取り組みが求められています。

当地域における救急医療体制は、三次救急は救命救急センターを併設している市立宇和島病院が、二次救急は病院群輪番制病院を軸に救急告示病院が補完、初期救急は在宅当番医制で対応していますが、医療従事者の不足が慢性化する中、現体制を維持することは年々難しくなっています。

今後は、当地域における限られた医療資源の有効活用を図るために、医療機関相互の連携強化、役割分担の明確化、医療従事者の確保に努め、圏域住民が質の高い医療を受けられることができる医療提供体制の構築が必要となっています。

【図表 7-1】【病床機能報告（2014年7月1日現在）】			
現状			
高度急性期	急性期	回復期	慢性期
20床	1,219床	198床	591床

(※許可病床による集計)

【図表 7-2】【2025年の必要病床数推計値】				
機能別必要病床数一覧表				
高度急性期	急性期	回復期	慢性期	在宅等
120床	418床	454床	305床	1,862人/日

※出典:「愛媛県地域医療構想」(愛媛県)より

## ②公共交通等

### (ア) 鉄道

圏域における鉄道路線は四国旅客鉄道(株)による予讃線と予土線の2路線があり、予讃線は香川県高松駅から愛媛県松山駅を経て宇和島駅に至る鉄道路線(幹線)で、特急列車が1日16本運転されており、宇和島駅から松山駅までの所要時間は約1時間20分でアクセス可能です。

予土線は高知県四万十町の若井駅から北宇和島駅に至る鉄道路線(地方交通線)で、愛媛県と高知県を連絡する唯一の鉄道線であり、松野町や鬼北町からの宇和島市へ通学する学生等の主要移動手段として利用されています。また、宇和島駅からの発車列車は1日13本で高知県窪川駅までの所要時間は2時間6分でアクセス可能です。

○JR予讃線の駅が所在する市町：宇和島市

○JR予土線の駅が所在する市町：宇和島市、松野町、鬼北町

### (イ) 路線バス

民間路線バスは、宇和島自動車株式会社により40路線が運行されている。このうち16路線が近隣の市町と連絡する広域路線、24路線が宇和島市内完結型の路線であります。

大洲・松山方面へは1日40便の運行があり宇和島・松山間を特急バスが最短2時間余りで運行し、また愛南町、宿毛市方面にも1日40便の運行があります。

宇和島市内の路線は、宇和島駅前やバスセンターを基点に国道56号を縦軸とし、吉田地域や津島地域の中心部を結ぶほか、三間地域へは、鬼北町や松野町まで至る路線が経由しています。

路線バスにおいても松野町、鬼北町、愛南町からの宇和島市へ通学する学生等の主要移動手段として利用されています

### (ウ) 交通空白地

圏域内では、交通が不便な地域において、コミュニティバスの運行、デマンドタクシーの予約システムの導入など市町それぞれで取組を行っています。人口減少・少子高齢化などの社会状況を踏まえると、今後ますます対象地域が増加することが予想されることから、さらなる利便性の向上及び利用促進を図ることはもちろんのこと、運行の経営効率化を行うことも求められます。

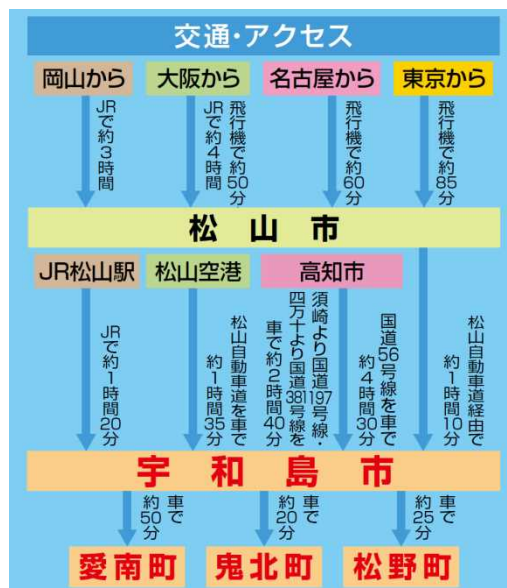
(工) 自動車道路網

圏域内の沿岸部を南北に国道 56 号が縦貫し、これを軸として内陸部の鬼北町、松野町方面に国道 320 号、381 号、441 号などが走り、圏域内の主要幹線網を形成しています。

また、広域交通基盤では、四国横断自動車道が宇和島圏域へ延伸し、松山圏域等との時間距離は大幅に短縮となりました。



〔図表 9〕【参考：交通アクセスと道の駅】



#### (4) 産業別就業者状況

平成27年の国勢調査結果によれば、宇和島圏域における産業別の就業人口は、農林水産業等の第1次産業の就業人口が9,683人（18.93%）、建設・製造業等の第2次産業の就業人口は7,801人（15.25%）、サービス業、卸売・小売業、飲食店等の第3次産業は33,670人（65.82%）となっており、県内比較では第1次産業が11.22ポイント高く、一方、第2次産業は9ポイント低くなっています。

宇和島圏域においては、県内でも第1次産業のそのウエイトが高く、農業については、沿岸部を中心に温州ミカンなど柑橘類の栽培が盛んであり、内陸部は、米、野菜、果樹、畜産などの多様な産地を形成しています。水産業は、カツオ漁のほか、マダイ、ハマチ、真珠・真珠母貝などの養殖が盛んに行われ、日本有数の生産量を誇っています。

平成22年と平成27年を比較すると、宇和島圏域における就業人口は約56,000人から約53,000人と約3,000人減少し、特に、第1次産業においては就業者割合が0.9ポイント低くなっており、従事者の高齢化及び後継者不足の問題が顕著となり、担い手の育成という課題に対応することが求められています。【図表10】

【図表10】【産業別就業者の推移】

(単位：人%)

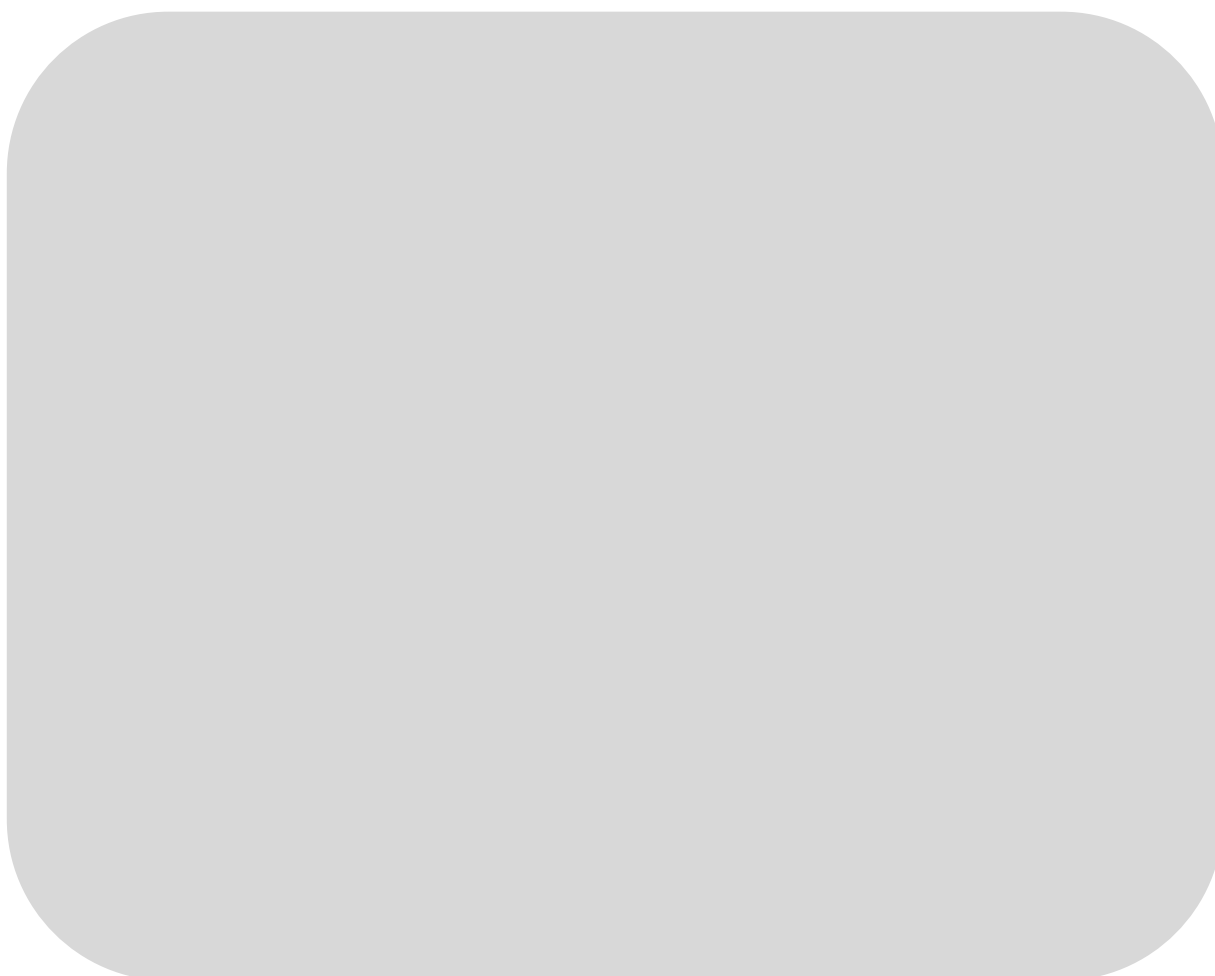
市町村	第1次産業		第2次産業		第3次産業		合計	(参考) 分類不能
	従業者数	割合	従業者数	割合	従業者数	割合		従業者数
平成27年								
宇和島市	7,534	19.89	5,336	14.08	25,015	66.03	37,885	745
松野町	455	22.51	367	18.16	1,199	59.33	2,021	5
鬼北町	693	14.6	1,019	21.47	3,034	63.93	4,746	16
愛南町	2,165	21.24	1,426	13.99	6,601	64.77	10,192	36
圏域計	10,847	19.78	8,148	14.86	35,849	65.36	54,844	802
愛媛県	52,430	8.29	154,858	24.48	425,321	67.23	632,609	18,996

平成27年	市町村	第1次産業		第2次産業		第3次産業		合計	(参考) 分類不能
		従業者数	割合	従業者数	割合	従業者数	割合		従業者数
		宇和島市	6,593	18.77	5,142	14.64	23,387		66.59
松野町	291	16.25	335	18.7	1,165	65.05	1,791	48	
鬼北町	801	16.81	959	20.13	3,004	63.06	4,764	122	
愛南町	1,998	21.08	1,365	14.4	6,114	64.52	9,477	76	
圏域計	9,683	18.93	7,801	15.25	33,670	65.82	51,154	1,796	
愛媛県	47,194	7.71	148,409	24.25	416,461	68.04	612,064	30,677	

※総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)より

※第1次、第2次、第3次産業の構成比の分母は、「分類不能の産業」を除く就業者数

## 2. 目指すべき圏域の将来像





## 第4章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

定住自立圏の形成に関する協定書に基づき、各政策分野において推進する具体的取組を以下に掲載します

### 1. 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

#### (1) 生活機能の強化に係る政策分野

##### ア 医療

事業名					関係市町	
事業概要						
効果						
事業費見込 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	
重要業績指標 (KPI)				目標値 (34年度)		
関係市町の 役割分担						

#### (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

##### ア 地域公共交通

事業名					関係市町	
事業概要						
効果						
事業費見込 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	
重要業績指標 (KPI)				目標値 (34年度)		
関係市町の 役割分担						

### (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

#### ア 人材の育成・交流

事業名					関係市町	
事業概要						
効果						
事業費見込 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	
重要業績指標 (KPI)				目標値 (34年度)		
関係市町の 役割分担						

### (4) まち・ひと・しごと創生に係る政策分野

#### ア 外部からの人材確保

事業名					関係市町	
事業概要						
効果						
事業費見込 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	
重要業績指標 (KPI)				目標値 (34年度)		
関係市町の 役割分担						